児童作文

おじちゃんの給料日

駛馬南校四年二組　坂本周二

このあいだから、ぼくたちの先生も、毎日四時ごろになるとみんなそろつて早く学校からかえられるようになりました。そのことを夕ごはんの時、ぼくが家でみんなに話すと、おじちゃんが「先生も家でくらすのにお金をもつとたくさんもらわないとどうにもくらされないので早くかえられるのだよ」と話してくださいました。そういえばきのうぼくの家でも、おじちゃんとおばちゃんがけんかをしていました。時々「金がたらんのに正月はどうするとかい」というような高い声がきこえてきましたので、きつと又きゆうりようのことでけんかをしているのだろうとおもつてきいていましたが、おばちゃんの声がだんだん高くなると、ばあちゃんがみんなそとにあそびにいこうといつてけん一さんとぼくをつれて出て行きました。

そこでぼくがお金のことをおばあちゃんにきくと、子供はしんぱいしないで、一生けんめいべんきょうしなさいとしかられました。

こんどはすぐ正月ですしいまからさむくなるので、たび、てぶくろそしてぼくの大すきなまんがの本をかつてもらおうと思つておじちゃんとやくそくしました。ぼくはそれがたのしみで、夜はゆめの中にでてねられません。学校にいつても思うことがあります。それできゆうりよう日と正月が早くこいと思つていますが、おじちゃんは、会社からたくさん金をくれたらうんと買つてやるぞといいましたが、ストライキの話をしましたのでぼくはしんぱいです。（おわり）

お父さんの給料日

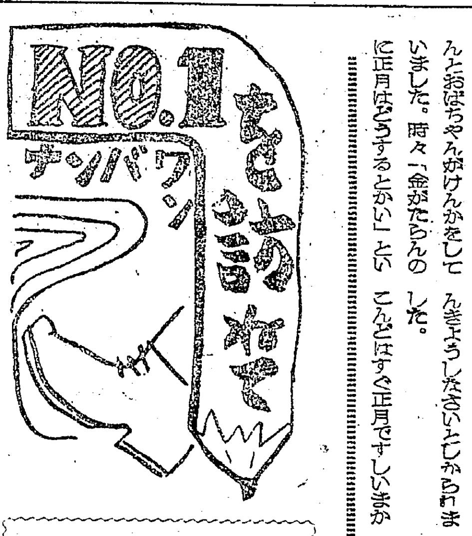
三川小五年　永野しづか

「そうる配給」と云つてお母さんが買物かごからみかんを出されました。私たち子供は我先に手をさし出しました。みんな三個あていただきました。「給料の特配」と云つてお父さんが、服のポケツトからキャラメルを出されました。みかんとキャラメルをかわるがわるたべたらとてもおいしかつたので、またたくさんほしいなと思いました。お風呂から帰つておとうさんは新聞をよんでいました。お母さんはいそがしそうに早く手を動かして、よその美しい着物のおさいほうをしていました私は、ふとんの中から首を長く出して「こんな美しい着物を着たいなあ」と大きな声で云いました。「こんな美しい着物はたくさんお金がかゝります。お父さんの給料くらいでは、とても買うことは出来ません。しづかにおやすみ」といつてお母さんにしかられました。私はあわて、ふとんの中に頭をかくしてまた美しい着物のことを考えていました。

お父さんの給料日

さきはら町二年　おにつかたつのり

ぼくのおとうさんは三こうたいです、一ばん方はぼくのねているしらないうちに出て行かれます。二ばん方は学校に行つている時、三ばん方はみんながねようとする時にさむい時もいやなかほをせずにおしごとに行かれます。ぼくが学校にまい日行けるのも、お父さんのおかげです。まい月十五日はうれしいうれしいお父さんのきゆうりよう日です。きゆうりよう日にはおかあさんとごちそうをしてお父さんのかへりをまつていますとお父さんがニコニコしてきゆうりようをいたゞいてかへつてこられます。お父さんはホラといつておかあさんにわたされます。ずつとおかあさんは、オオキニといつてお父さんからもらつておられます。ぼくもなんだかうれしくなりますぼくのやさしいお父さんほんとにほんとにごくろうさまです。　おわり



「温いムチ」に感謝

第九回アンケート　支部長、書記長の巻

「みいけ」二百十一号から試みたナンバー1を訪ねてのアンケートは第八回まで回を重ねる毎に関心を呼び、ユーモアのなかに執行部と組合員間の親睦の度が深められ「みいけ」編集部としては予期以上の成功を収めたものと思つています。このあたりでこの企画に対しても一応の終止符をうつこと、して更にこの企図の意義を明確化し締めくゝりをつける意味で今度は各支部長及本部書記長にお願いして感想、抱負等を述べて頂きました。

1、アンケートの内容に就て貴方が職責を通じて感じた事

2、貴方がえがく夢

大同團結こそが勝利への原動力

宮浦支部長　野方重雄

1、過去色々なテーマについて皆様の御意見が出されていますが全く同感です。賃金問題期末手当についても要求額と妥結額の差が甚だしく御不満を訴へられる気持は良く理解出來るが、何時の場合でも要求の完全獲得というものは革命がない限り不可能である事を御了解願いたい。炭労の賃金統一交渉については種々批判は出たが大局的に見て成功したものと思う。要はお互ひエゴを捨て、大局的な見地から見るべきと思う。過去の闘争をかへり見て組合員並に家族の皆様の強い闘争意欲については支部長として各々強く感じる次第であります。今後共お互大同團結する事が勝利の原動力であると云う固い信念の下に各々御協力を切望する。

2、お互の間に偽りのない社会が出來たらと思う。そんな社会が出來たら阿具根内閣を組閣して労働者の住み良い社会ギマンのないサク取のない社会主義社会が出來て労働陣営を解放する事が一九五二年の十月頃に來る事。

親しまれる「みいけ」執行部との繋り強化

三川支部長　菊川武光

1　アンケートを実施した当初は組合機関紙としてスペースを割愛して掲載する価値を一、二回は認めたが回を重ねるにつけ機関紙に掲載する事よりむしろ大衆雑誌に掲載すべき内容が多くなつた感がある。然し組合員に「みいけ」が親しまれ且つ執行部と組合員との親睦感が表れた点については効果があつたものと思う。

2、就任当時は職場が暗く玄関も便利が悪く、組合員の出入りも少かつたが、皆さんのお蔭で大体思う通り改善が出來た。

3、賃金は理論生計費で完全に獲得出來、炭鉱労働者は自家用車で通勤し坑内現場は全部機械化し肉体労働なくして切羽から貯炭場まで搬出され然も負傷者を年間を通じ微傷一名を出した事で保安協議会で相当問題となり労働者側は罷免権を発動し保安施設は完備し、組合員の要望はその日の内に全部解決出來、一日五時間、週三十時間労働の社会主義社会の実現。

機關紙を分り易く親しみ深いものに

四山支部長　宮川睦男

1、私の支部に於ては組合に対する要望等は余りありませんでしたので全般的に見て組合員の気持を綜合して私の感じた事を申し上げます。

先づ組合員並に家族に到るまで組合に対する認識を深める為に職場や家庭にどしどし参りまして大いに話合つて現場や家庭の実態と共に活動したいと思います。

次は機関紙をもつと！分り易く親しみ易いものにして貰いたいと思います。

2、英国の労働党の様な内閣が早く出來て完全なる社会補償制度が確立され、勤労者の生活水準が今の数倍上る様な社会を望みます。

戦争の絶対無い平和の社会を望みます。

近頃珍しい話

本所支部長　塚本敦義

今時珍らしい話

七夕社宅婦人会は会長始め幹部、会員の努力に依つて日一日と成長して居ります、その会員の尾田さんの家に去る日内田さんと云う見知らぬ人が來られて「先日は誠に有難う御座居ました」とお礼を云はれた。その内容は

一月二十五日七夕社宅の道路上に三〇〇〇円在中の三池炭鉱十二月分給与差額金支拂の給与が落ちて居つたのでこれを拾われた尾田さんは巡査派出所に届出て置いたのがその後無事に落し主の内田さんにリレーされたのであつた。お互に苦しい生活であり自分のものでは足りずに他人のものもほしく成り勝ちで　拾つたらそのまゝ「ポケツト」に　此れも明日食う米の心配やら家賃のことわりやら等々と生活の苦しさ故のことで早く人間らしい生活の出來る様にして道徳の高揚を計りたい。

私の夢は沢山有りますが夢の一つを。

外國映畫の審査を日本側に移管

これまで外国映画の内容審査は総司令部当局でやつていたが、講和条約発効後は日本側に移されることになり、その審査方法が決定した邦画の内容審査は一昨年から業者団体である日本映画連合会倫理規程管理委員会で実行して來たが近く移管される外国関係もこの倫管委が当るもので、根本精神は「日本民主化の阻害」「社会秩序の破壊」「道徳的な悪影響」の三点となつている。具体的には現在邦画の審査基準になつている、ムーヴイ・コード（映画倫理規定）を進用するが各国の風習なども尊重する。異色ある点は倫管委の審査の事前に、外国業者から自主的に選んでもらう段階を設けたことで外国業者の代表者で組織される予選委員会がそれに当る。この予選委で上映OKの意見一致をみた作品を初めて倫管委が審査の対象とする。その審査で不適当と認めた個所を倫管委から予選委に勧告、削除などの処置がとられ一般公開の運びとなる仕組

過去の批判に立つて今後の闘争を展開

渉務支部長　山下一二

1、退職金の改訂を要求して、已に前哨戦を展開して居り、時日を経ずして昨年末の賃金闘争に比すべき実力行使の段階に立ち至らんとしている今日　編集部から今までのアンケートについて職責を通じて感じた事を書けと指定を受けたので、再検討の意味で最初の分から読み返して見た訳であるが、何れも吾々執行部を鞭撻し批判し、或いは支持する内容がもられている事に対して喜びに堪えない。過去に於ける失敗や批判を再び繰返さぬ為にこれらの鞭撻や批判を有難く御受けして本年トツプの退職金闘争及労働法改悪反対闘争に立ち上つて行き度い。

2、夢は夢にして発展にあらず、とは、こゝでは考へ度くない。

（イ）吾々労働者が苦しむ事に依つて、労働者の為の政府を作る事が出來たら、あえてその苦労はおそれない。

（ロ）この世から戦争が全く無くなつた目標の下で一杯呑み度い。

組合に對する要望身に泌みて讀んだ

三作支部長　北原一男

1、先ず編集部に対して一言、第一回のアンケートは写真も良く撮れていたが、回を追うに従つてやゝ鮮明を欠ぐ様になつた。人権尊重の意味からしても、もう少し良く撮つてもらひたい。

組合に対する不平不満身にしみて読んだ、今後は組合に対する不平不満なし、といはれる様に頑張りたい。「要求には遠いが最善を尽した」との御批判は有難すぎて勿体ない位、心に誓つて今後は「最全を尽して要求を勝ち取つた」といはれる様に努力する決意である。

2、根がロマンチストだから、常に十や二十の夢を描いている。全部書けば紙面が許さぬし、極端なのを書けば体面にかかはると迷つた。

公共事業の国営国管、社会保障制度の完全実施迄は遠いとしても資本家が利潤の追及を二十八年度を以つて忘れ去る事。

これも夢の部類に入るだろうか

我が夢は十萬圓賃金ベースの獲得

書記長　浦川守

1（イ）教宣活動の重大性を痛感した

△執行部の考えが十分に理解されていない面があり又組合員の生の声をもつと執行部は把握する必要がある。

（ロ）組合への温いムチが嬉しかつた

△誰がどんな事を言うか、多少の不安もあつたが、全体的にみて組合に対する関心と愛情で溢ちていた。

（ハ）粉骨砕身一層の努力を覚悟させられた

△生産に対する意欲は生活の安定と正比例する「働けど働けど我が暮し楽にならざる―」じつと手を見つめてばかり居て果して良いものだろうか、自らの向上とそして労働階級の解放は吾々の手で吾々の團結で闘ひとる以外にその方法がないことを悟らせられた。

2、沢山あるのでその一部をチヨツピリ

イ、機関紙「みいけ」の日刊発行と家庭配達

ロ、十万円賃金ベースの獲得

ハ、鈴木社会党（左派）内閣の実現

機關紙に皆さんの「生の聲」を！

編集部長　平島敏治

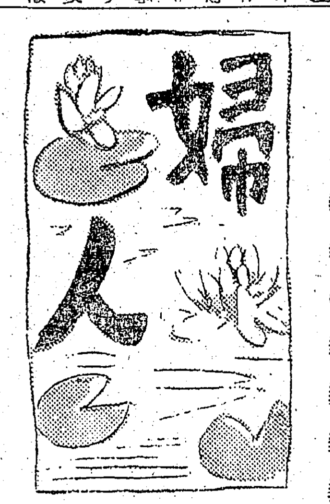
1―アンケートでカメラと用紙をもつて山猿の様な格好で出掛た本人であつて人に依つては相当うらんでいる人もあろうと自覚しているので殊更シカメツラして書いても噴飯ものであろう。何もあれアンケートを始めたのは組合員皆さんの思つていること　考へていることを率直に書いて頂いて末端組合員の意向を十分尊重して執行にうつすという考へ方で実施したが、回を重ねるに従つて実行に移されるものは本部、支部各部で検討してあるので大体意とする所は遂げたと思つています。今後も新聞担当者として職場、社宅の隅々の出來事も全組合員、家族の方にわかる様努力したいと思つています。

○夢は理想であり理想は現実化したい。

国内的には吉田ワンマン内閣の解散、労働者を基盤とする内閣の樹立

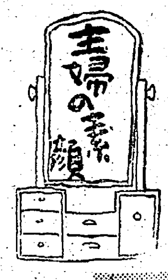
組合的には事業部の拡大によつて組合費徴収の軽減

個人的にはそう糠の妻を貰つてよきパパになること。



實際家肌の働き手

野添社宅・山崎梅子さん



卅七才と云うが、どう見ても卅前の若々しさ　小柄な引締った身体つき、知性をたゝえた深い眼差し、野添社宅の婦人会長山崎梅子さんはおよそ会長さんらしからぬ会長さん、良妻賢母型でない良妻賢母、地味な目立たない存在でありながらやらねばならぬ事は少しの無駄もなくキチンとやつて行く　そう云つたタイプである。大陸育ち　大連の女子商業を出て貿易商社に英文タイピストとして勤め　のち御主人の才次郎さん（三川鉱仕繰）と結婚して北京に渡り、終戦で引揚げるまで内地を知らなかつたと云う経歴の持主、赤ちやんを含め二人のいたいけな子供を抱えての引揚行は艱苦にみちたものであつたろうし、裸一貫、第二の人生を炭鉱に求めての再出発もさだめし険しい道だつたろうに、微塵もそんなカゲを止めず、ひたすら生活の地固め、子供の教育に励む―また婦人会の仕事にしてもむづかしいことを云うより日常の何でもない事、例えば清掃や節電協力などから着々手がけて行く―そんなところに山崎さんの真骨頂がうかゞえる。

以下山崎さんの弁―

主婦のつとめは先ず家事をキチンと処理し、出來るだけ生活の改善をはかる事から初まり、余力をもつて社会的活動を行うのが正しいと思います組合の云う民主的婦人会についても昨年あたりは殆ど理解もあつたようですが、最近で段々認識もあらたまつて來たようで心強く思つて居ります。

赤ちゃんは元氣ですか

巡回育児指導に乗り出す

あなたの赤ちやんは元気ですか？

生活指導係では毎月第一火曜日三川、第二火曜日万田、大谷、第三火曜日宮浦、第四火曜日本所、三十日四山と巡回育児指導を行つています。

この指導会では体重の測定を行い食事、衣服、日光浴、離乳等の指導を行つています。

指導対象の赤ちやんは生後二ケ年迄の人であります。昨年六月赤ん坊大会で乳児判定基準の判定によりC級に該当した赤ちやんを特に指導しています。親の不注意で一年間病弱児に赤ちやんをしない様進んで指導を受けましよう。

乳児判定基準

A

1、各測定値標準以上

2、先天性疾患なきこと（遺傳き）

3、体質異常の徴候なきこと（便秘、滲出性体質）

4、現在疾患を認むるものは除外

A

1、上記（1）（2）（3）の條件を具備するも軽度の体質異常の徴候一つ位を認むるもの

2、百日以内で身長、頭囲値かに標準以下なるもの（体重胸囲標準以上）

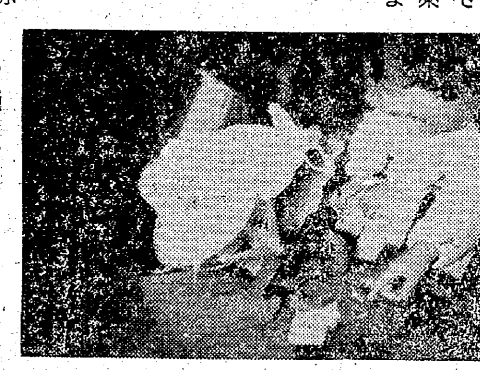
B

1、身体全般的に均衡を保つものにして少しく標準に満ざるもの

2、測定値標準以上なるも疾病性症状を認めるもの

C　以上の規格以下なるもの（育児指導を要するもの）

'C　医院に於て治療を要するもの



赤ん坊の身体検査も大人並みに慎重に（寫眞は秤量器で赤ん坊を秤る＝勝立社宅にて）

機關紙は家族揃つて讀みましよう

赤信号から黒字経営へ

マイクロ・メーターの勘でパチンコ稼ぎの猛者も居る

製作所三工場見参記

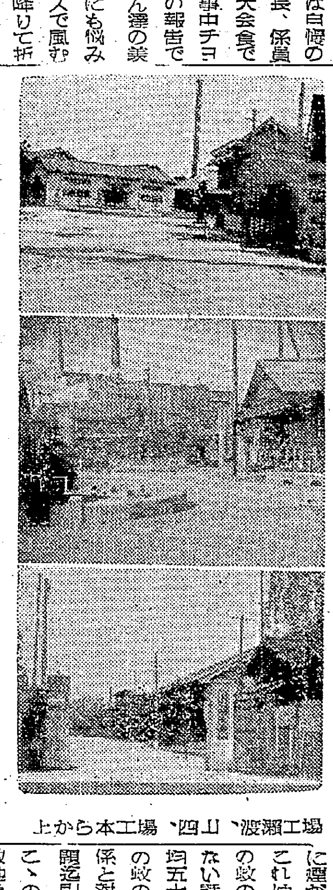
赤字経営でひと頃青息吐息の製作所も石炭ブームの好景気で工員の技術と腕とを相俟つて隆盛の歩を進めている。終戦後労働組合が結成された時はこの工場も本工場と渡瀬工場の二つの独立した組合を形成していたが時代の流れによつて合併合流して三鉱労組の製作支部として発足本工場、渡瀬工場、四川分工場と南北三里強に亘る事業をやつている。記者は一日この三つの工場を訪ねた。

本工場

東新町マーケツトの一角に朝夕の通勤時以外は経営者、職員、鉱員も通行罷りならぬ数千円もしたという表札をかけた正門を構えているのが本工場である。風の吹き様では染料の黒煙が流れ來てヘントウセン患者はセキでなやむそうである。事務所関係の建物は甚だモダンであるが現場は老朽になつたのか機械すし詰めと、採光が甚だ悪い。居休時になるとマーケツトは製作所のための市場の様である時にパチンコ屋は製作所常設の遊技場の様である。居休の三〇分程度で十二〇個もせしめる猛者がいるそうだ。恐らくマイクロメーターの勘かゲージでもつくつていることであろうとのことである。然し勝つ人は自慢して吹聴するが、負けてベソかいている人も多数いることも聞く

四山分工場

三池港の一角に陣して車輌工場として発展していたのが四山分工場で、酒船もしますばいといえば、炭鉱の工場として確かに異色版である。四山分工場の食堂は自慢の種である。委員さんも係長、係員も皆なベントウもつての大会食である。委員会の報告も食事中チヨツトという具合で委員会の報告で集合が悪い職場の委員さん達の羨望の的である。だがこゝにも悩みはある、それは四池のススで風向きによつてはススが舞ひ降りて折角のリーゼントスタイルで白いワイシャツも黒くなるので閉口であるとのことである。これは四山社宅と同様大きな悩みである。夏になれば潮風が吹き來たつて水泳大会は毎日出來て実質賃金の獲得には魚釣も出來るとは一寸工場のオアシスである。こゝも建物が古く機械工場などは人が働らいていなかつたら工作機械の倉庫同様で保安の点からもなんとかする必要を感ずる。



上から本工場、四山、渡瀬工場

渡瀬工場

鹿児島本線通過のミギリ来宮殿がもらした言葉からこの工場が建てられたそうである。戦時中は軍需工場として白鉢巻の乙女や学徒多数を動員して人員も千数百名からいたのが現在では総員二〇〇名足らずである。田舎であるので空気はよく風光明媚であるが、創設当時はイタチ、マムシの類も工場の中をかけめぐつていたとはウソの様な話である。夏季になると工場のあちらこちらに煙がもうもうと立ち込めている。これは蚊退治である。何しろこゝの蚊の多い事は驚く程である。汚ない話だが便所のボツクスには平均五十匹位居るとのことで、この蚊の問題で職場委員と保安衛生係と対立して係員のボイコツト問題迄引起したという罪な蚊である。こゝの実質賃金の獲得はボー大な敷地を有しているので昼休み時間外等で農耕をやり相当の収穫らしい。ともあれ赤字経営が打続いて多大な出血をなした製作所に、工員の努力により黒字経営となつて春めぐり來つた感がある。

投稿

生活改善の第一歩

三港　無名氏

賃金交渉も総り展開もすんだ。これで一応九月迄の賃金が固定された訳だ。だが然し我々の生活はまだまだ苦しい。著しい経済の変動がない限り九月迄の賃金は改訂されない。著しい経済の変動とは之も又会社組合の見解の相違にてその時になつての困難性は予想される。然らば我々は今后賃金に代る所の何ものかを実質賃金として計画せねばならない。しかもこれは急を要するものである。これに対し我々個人にしても充分考慮して対処する心構えが必要である。

現在厚生部では実質賃金の向上のために生活協同組合の設立を急いでいる。然し乍ら我々はそれにのみ依存する事なく家庭としても生活の改善をもう一度検討すべきではなかろうか。例えば社宅外居住者等にして店の遠い場所又店舗が少い所等に於ては競争相手が少いため値段に於て他所より若干高い所が往々にある。こんな場合等は若干距離的に不便であつても安いのを努めて買う様にすべきであり、又、もう一つの例を挙げると新地方面の或風呂屋に於て夕方非常に湯が少くこの寒い時季にては客の好まざる所であり水をどんどん沸かして貰いたい旨をいうと、文句をいふなどの言葉を弄する様な所もある。こんな悪質な客を客とも思はない業者が種々な方面に於て居るのではないだろうかと懸念する。

こういう風な種々悪徳業者に対して我々が不買同盟を結ばず共自主的にボイコツトすべきであり、自然的にかゝる業者を駆逐してもつとサービスの行届いた安価な販売をさせる様にする事が我々勤労者の一つの任務ではなかろうかと考える。

これと合せて生活協同組合の設立を一日も早からん事を希望し、勤労者の團結を以て推進運動を行い、生活に対してあらゆる角度から向上を図る事を充分研究する事が今年の我々に与えられた一つの大きな課題ではなかろうか。

お願い

この種投稿を歓迎します。随時自由、締切も特に設けません。ふるつて御寄稿下さい

編集部

輝かしい足跡

組合運動史を編纂

敗戦後の混沌たる世相の中に萌芽をあげて以來最も民主的な行き方を志向して來た我が三鉱労組はこの二月三日で結成六週年を迎へたが、今その足跡をふりかへり、更に困難なる今後に処する為本部では先頃から組合史を編纂することとなり準備を進めていたが、大体の構想がまとまつたので津留総務部長が主たる担当者となり、資料の蒐集に取りかゝつた。

この運動史は概説労働事情、組合組織の変遷並に活動状況内部活動経営参加及び労働協約、労働争議と団体交渉、石炭復興運動と炭鉱国管理などの七章にわかれ　四六版で四百頁位のすばらしいもので今秋十月頃完成の予定。

編纂に當つて

総務部長　津留深

組合運動史に就ては昭和廿四年度に編集委員も決つていたが改選や闘争等でついに着手されなかつた。その後度々運動史の作成が論議されていましたが、この度創立六周年記念日を迎へて愈々具現化する事となり私がその任に当る事になり、任期中に完成させるべく早資料の蒐集を急いで居りますが、何分創立以來大分散逸もして居りますのでこれが整備には相当困難を感じて居る次第であります。各位の御協力を切に御願い致します。

詩

白い煙突

河野哲久

工場の眞中から屋根をこえて
背のびをした女の裸身
潮風に海をつたし
卑猥な眼の魚族を殺害し
蘇生した死者の足へ
蛇のようにからみつく
あの漆黒の頭髪をなびかせながら
しかもなお
白い手の指先にくすぶる魔薛煙
まつた　妖奇ではないか
豊満な胸は氷のように冷たく
頑固に盛り上つた臀部は
びくともしないのだ
あの煙突はいまに倒さねばならぬ
なまあたゝかい下腹部では
族陽にまみれた男たちが
群をなして腐つてゆく。

秋日短想

ながもと・いさむ

コスモスの花が
風と
話をしている
ぼく　が　だまつてきいていると
それは秋の童話でした。

◇

眞向ひの山が
非常に近くなつたので
朝御飯がおいしい
味噌汁は
郷愁の匂で一ぱいだ。

◇

何でもない
ちよつとしたことまで
無性に腹が立つ日
南の陽だまりで
末ツ児の
〃へそ〃をためよう。

◇

六つの荷物が
馬鹿に重たい日だ
妻よ
貧しくとも、貧しくとも
お前の瞳に
私の瞳に
コバルトの空を映そう

◇

今宵
美しく匂ふ菊の花びらは
星空へ
愛の花瓣を塗る
ぼくは
清浄なる腕もて
黒蜜の糸をたぐりよせよう。

鑛山

―春待つ唄より―

中尾三三男

わたしはよぼく
故郷をすてゝ
このやまに棲む。
ゆく雲と、渡り鳥と
さむぐくとして、はるかに―
ひと日の疲れを糧にかへて
今なつかしきねぐらへ歸る。
落日のやまは
しづかに灯をともし
ひもじさをこらへて
わたしを待つ
さはれ今、願いは溢さめし
春の唄―
嫁も子も
苦しきたつきを背負ひて
あゝ
わたしは、よぼく
故郷をすてゝ
このやまに棲む。

紹介映画

偲ぶ鬼才山中の傑作「河内山宗俊」

―新版―

河原崎長十郎、中村かん右衛門、市川扇升、原節子以下の强力キヤストを駆使し、鬼才山中貞雄が原作を書き、三村伸太郎のシナリオによつて自らメガホンをとるもので、その無類の面白さ、構成の妙味、加へて感覚の清新さに於て、日本映画に残る名品と云われ、興趣を一層リヽツクにドラマチツクに表現した傑作時代劇である。

お馴染の数寄屋坊主の河内山が、金子市之丞と力を合わせ、直次郎お静の姉弟を救う物語りの中に、人情の美しさと庶民的な哀調を織込み、更に大向うを唸らせる松平家での名台詞、最後に悲愴凄惨なたちまわり等々劇的効果を発揮したもので、前進座一党が夫々の持味を出し、助演陣には、清川荘司、高勢実乗、鳥羽陽之助、山岸しづ江、衣笠淳子等が活躍、尚、撮影を町井春美、録音を万宗主介、音楽を西梧郎が担当している。

三鑛映畫

「天使も夢みる」（松竹）
二月三日＝宮浦　四日＝三川、港務　五日＝三作、建設

「若人の歌」（東宝）
二月六日＝渡作　七日＝宮浦　八日＝万田　九日＝三川、港務　十日＝本所　十一日＝四山　十二日＝三作、建設

「鞍馬の火祭り」（松竹）
二月十三日＝渡作　十四日＝万田　十五日＝宮浦　十六日＝本所　十七日＝四山　十八日＝三作、建設　十九日＝三川、港務

「逢魔が辻の決闘」（大映）
二月二十日＝渡作　二十一日＝万田　二十二日＝本所　二十三日＝四山　二十四日＝宮浦　二十五日＝三川、港務　二十六日＝三作、建設